

第7回運営委員会

2024

ACTIVITY REPORT

GCoM/Japan
世界首長誓約/日本
活動実績報告

2025年2月6日

1

新規誓約

New Signatory

2

運営会議

Steering Committee

3

モニタリング報告と審査会

Monitoring Report and Review Committee

4

テクニカルサポート

Technical Support

5

イベント

Events

6

その他

Others



Covenant
of Mayors
for Climate & Energy JAPAN
世界首長誓約/日本

新規誓約 NEW SIGNATORY



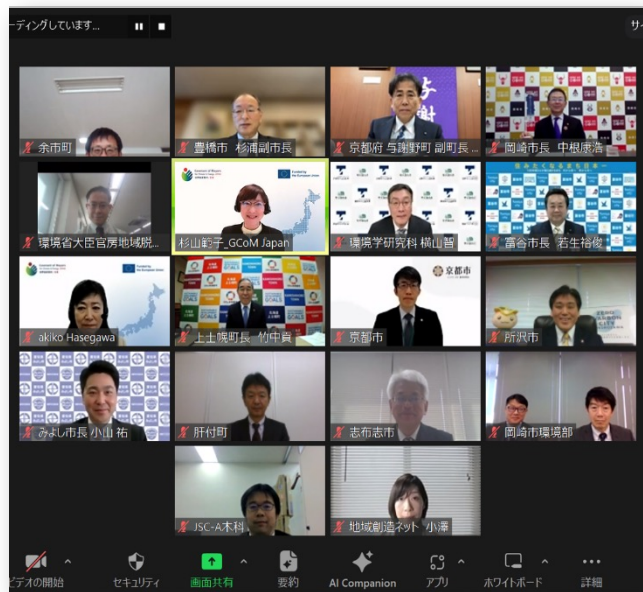
**2024年12月末で、
国内で49自治体が誓約**



**1月13日：
辰野町（長野県）**



**9月26日
一宮市（愛知県）**



2月8日（木）首長運営委員会（オンライン会議）

- 運営委員長に**岡崎市長**が選出された。
- 委員長代理に**所沢市長**が指名された。
- 新メンバーによる首長運営委員会は **11人の首長**
（岡崎市、所沢市、余市町、上土幌町、富谷市、豊橋市、
みよし市、京都市、与謝野町、志布志市、肝付町）で構成。
- **改定された運営委員会規程**が承認された。

モニタリング報告(2024年中18自治体)

- 岡山市 (1月29日)
- 松本市 (2月5日)
- 富谷市 (3月28日)
- 上士幌町 (6月19日)
- 山県市 (6月20日)
- 大府市 (7月19日)
- 三島市 (8月29日)
- 余市町 (9月9日)
- 豊橋市 (10月10日)
- 与謝野町 (10月17日)
- 佐渡市 (10月25日)
- 宇佐市 (10月29日)
- 岡崎市 (11月1日)
- 加賀市 (11月20日)
- 一宮市 (11月25日)
- 坂出市 (11月25日)
- 豊田市 (12月17日)
- 豊中市 (12月19日)



専門家による審査委員会の開催

- ✓ 岡山市 (1月29日)
- ✓ 松本市 (2月5日)
- ✓ 富谷市 (3月28日)
- ✓ 上士幌町 (6月19日)
- ✓ 山県市 (6月20日)
- ✓ 三島市 (8月29日)
- ✓ 大府市 (7月19日)
- ✓ 余市町 (9月9日)
- ✓ 与謝野町 (10月17日)
- ✓ 佐渡市 (10月25日)
- ✓ 宇佐市 (10月29日)
- ✓ 豊橋市 (10月10日)
- ✓ 岡崎市 (11月1日)
- ✓ 加賀市 (11月20日)
- ✓ 一宮市 (11月25日)
- ✓ 坂出市 (11月25日)
- ✓ 豊田市 (2025年1月31日)
- ✓ 豊中市 (2025年1月31日)

気候変動適応リスク評価

CLIMATE CHANGE ADAPTATION RISK ASSESSMENT

山口市（5月27日）

- 事務局が訪問し、気候変動適応の研修及びワークショップを実施し、リスク評価を試みた。
- 自治体職員とのワークショップを実施。
各課（総務課、企画財政課、建設課、まちづくり企業支援課、農林畜産課、福祉課、水道課、学校教育課、生涯学習課、健康介護課、子育て支援課、市民環境課より 12名が参加。
- 気候変動対策に対する知識を共有した。
それぞれの部署でのリスクを認識でき、横串の対応が期待できるWS となった。

気候変動適応コンサルティング

CLIMATE CHANGE ADAPTATION CONSULTING

大木町（6月17日）

- 新町長および副町長と面談。
- 適応計画策定のベースとなる情報を収集し世界首長誓約のモニタリング報告の適応シートを完成させるため、担当者にインタビューしアドバイスした。



気候変動適応研修・
リスク評価WSの様子
(山口市)

5

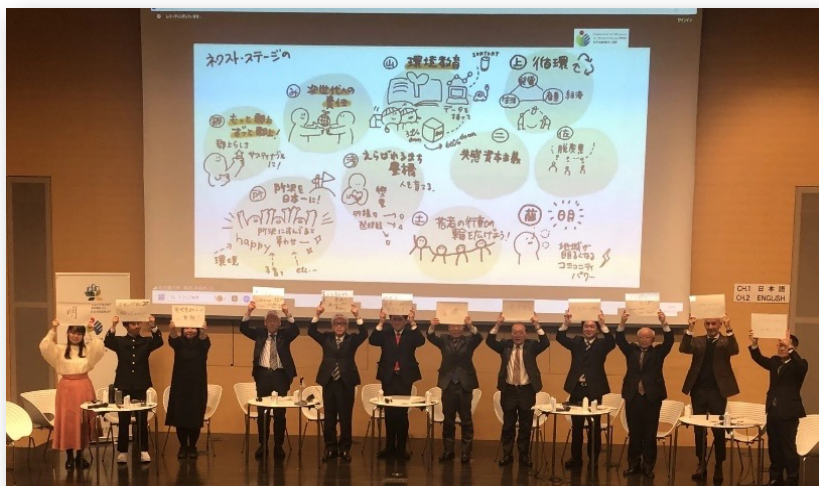
イベント

EVENTS

シンポジウム : NEXT Stage

SYMPOSIUM: NEXT STAGE

1月22日(月)
in 名古屋大学



📅 開催日 : 2024年1月22日

🏛️ 開催場所 : 名古屋大学 坂田・平田ホール & オンライン

参加者 : 約100名 (誓約首長7名 + 来賓)

👤 参加誓約首長 :

ニセコ町長・豊橋市長・所沢市長・上士幌町長
・山県市長・みよし市長・郡上市長

🎤 主な来賓 :

- ジャン＝エリック・パケ (EU特命全権大使)
- 木野修宏 (環境省地域脱炭素政策調整担当参事官) ほか

📌 プログラム

- ◆ 第1部 : 首長ディスカッション「地域からの変革」
- ◆ 第2部 : 首長×若者 パネルディスカッション「ネクスト・ステージ」
- 名古屋大学 附属高校・大学生・博士課程の若者3名が参加

📝 主な議論

- ✓ 自治体のネットワーク構築
- ✓ 成功・失敗事例の共有
- ✓ 気候変動対策・エネルギー・都市計画・生物多様性・
適応策の重要性
- ✓ 市民・自治体・国の連携と役割

📝 最後に、次のステップへの意気込みをパネルに記入・発表！

🎯 自治体と若者が共に未来を描く、意義深いディスカッションとなった！

自治体オンラインセミナー（新人・異動の担当者対象）

ONLINE SEMINAR FOR NEW REPRESENTATIVES OF SIGNATORY MUNICIPALITIES

4月25日（木）

参加者：26自治体 30名以上

1

世界最大の自治体の連合「世界気候エネルギー首長誓約」の展開

内田東吾 イクレイ日本 事務局長

2

自治体の取組を鼓舞する「世界首長誓約/日本」—概要とその仕組み—

杉山範子 世界首長誓約/日本 事務局長（名古屋大学 特任教授）

3

モニタリング報告について

1) CDP-ICLEI Track を通じた自治体の環境報告

山下恵理子 CDP Worldwide-Japan, ディスクロージャー、シティ・リード

2) 日本事務局への報告方法

中山典子 世界首長誓約/日本 事務局

4

「先輩」自治体からの経験共有

1) CDP-ICLEI Track で報告した自治体：鎌倉市 環境部環境政策課 ご担当者

2) 日本事務局へ報告した自治体：木更津市 環境部環境政策課 ご担当者

好評につき、
毎年恒例で4月に開催！

バッジ交付式と誓約自治体の実践報告

BADGE AWARDING CEREMONY AND PRACTICE REPORT OF SIGNATORY MUNICIPALITIES

5月30日(木)
in 欧州連合代表部

- 2023年にモニタリング報告を実施した13自治体のうち、コンプライアントバッジを取得した自治体にジャン＝エリック・パケ駐日欧州連合代表部 特命全権大使からバッジを授与。

- 新規（3自治体）：ニセコ町、鎌倉市、亀岡市
- 更新（9自治体）：
東京都、横浜市、富山市、所沢市（現地参加）
広島市（オンライン参加）、
北九州市、京都市、木更津市、新潟市（郵送）
- 高山村：緩和バッジ取得

➤ 新規バッジ取得自治体首長のパネルディスカッション

- ニセコ町 片山町長、
- 亀岡市 桂川市長、
- 鎌倉市 千田副市長
- モデレータ：杉山範子（事務局）
- コメンテータ：高野雅夫（名古屋大学 教授）

➤ 誓約自治体の実践報告（緩和策・適応策）

3分間プレゼン・リレー
コンプライアントバッジ保持自治体による報告



GCoM アジア国際ワークショップ

GCOM ASIA INTERNATIONAL WORKSHOP

参加自治体：8 自治体
**(二セコ町、所沢市、富山市、岡崎市、
豊田市、みよし市、鈴鹿市、亀岡市)**

- 1日目：6つのパネルディスカッションに、それぞれ日本の参加自治体が取組みを発表し、議論した。
- 2日目：英語でポスター発表。

現地視察：プラスチックごみの海への流出を防ぐため、河川に設置する空気の泡の「バブルネット」の現場を視察。



GCoM アジア国際ワークショップ

GCOM ASIA INTERNATIONAL WORKSHOP

6月11日(火)～6月13日(木)
in バンコク(タイ)



- ❖ アジアの国々の気候変動に対する取組み発表と、意見交換をすることにより、自らの自治体の取組みに対して自信をもつことができた。海外への情報発信の重要性を再認識した。
- ❖ 世界の自治体参加者との交流により「Think globaly, Act locally」の気持ちを高めた。

日本計画行政学会 全国大会 スペシャルセッション

SPECIAL SESSION

OF THE JAPAN ASSOCIATION FOR PLANNING AND PUBLIC MANAGEMENT NATIONAL CONFERENCE

9月6日(金)
in 愛知大学名古屋キャンパス

『『世界気候エネルギー首長誓約』の首長たちの挑戦』

・ パネリスト：富谷市 若生市長、亀岡市 桂川市長、みよし市 小山市長



富谷市：太陽光発電施設に関する条例を宮城県内で最初に制定。

亀岡市：家庭ごみの名称を「燃やすしかないごみ」と変更し 13%削減。
「埋め立てるしかないごみ」25%削減。国内初のプラスチック製レジ袋禁止条例（2020年制定、2021年施行）。

みよし市：公共施設の ZEB 化の基本方針。若手職員を中心とした部局横断でリスク・適応策を考えるWS開催。

- ・ モデレータ：増原直樹（兵庫県立大学）・杉山範子（世界首長誓約/日本事務局、名古屋大学）
- ・ 「気候変動政策は、環境だけ、エネルギーだけといった取組ではなく、農業や断熱、時には芸術も一緒に波及効果を高める、従来バラバラだと思われていた政策の相乗効果が非常に強く求められている」と増原先生によりまとめられた。

自治体ワークショップ^o

MUNICIPAL WORKSHOP

10月24日(木)～25日(金)
in 名古屋大学 坂田平田ホール

🌐 地域ので加速する気候政策 — 未来へのステップ^o

📍 参加自治体：14自治体
(与謝野町・豊田市・岡崎市・富山市・所沢市・上土幌町 など)

👥 1日目午前の公開セッション (約50名参加)

- 基調講演：「環境危機に立ち向かう地域の環境行政」
(環境省中部地方環境事務所 小森所長)
- 報告：「ゼロカーボンかみしほろサミット」
(上土幌町 佐藤課長)
- バンコクWS報告 & パネルディスカッション
(誓約自治体の参加者)



自治体ワークショップ

MUNICIPAL WORKSHOP

👥 1日目午後：ワークショップ（15名、3グループ）

💡 ミニレクチャー（名古屋大学の専門家）とグループワーク

- ① 気候市民会議の開き方・活かし方（三上直之教授）
- ② 再エネを活用した地域活性化（高野雅夫教授）
- ③ 世界首長誓約の最新情報（杉山範子特任教授）

📝 参加者の声（アンケートより）

✓ 自治体間の議論ができ、有意義だった

✓ 最新の気候・エネルギーに関する情報を得られた

🎯 自治体間の学びと協力を深める貴重な機会となった！

🏭 2日目：豊橋市のバイオマス利活用センターへ現地視察
全戸の生ごみを分別収集、下水汚泥とメタン発酵させバイオガス発電⚡

10月24日（木）～25日（金）
in 名古屋大学 坂田平田ホール



**GCoM カフェ 5 月 13 日 (月)
より毎週月曜日 16 時 45 分～**

(Zoomにて開催)

- ・目的：誓約自治体の担当者とのゆるやかなつながり、気楽に質問・相談できる場の提供
- ・内容：事務局への質問事項、要望や、逆に事務局からイベント参加者への連絡の場としても利用している。

GCoM世界事務局との連携

GCoM のテクニカル・ワーキング・グループとコミュニケーション・ワーキング・グループの活動に参加し、定期的に行われる WEB でのミーティングにより情報を共有している。

- ・GCoM Technical Working Group
- ・GCoM Communication Working Group



**PV 動画作成 3 本
(枠組み紹介編、制度紹介編、活動紹介編)
を作成、YouTubeで公開中**

誓約自治体や事務局が活用できるよう、わかりやすいプロモーションビデオをそれぞれ 3 分程度で制作した。



その他の会議：

- ・GCoM Open house：2 月 28 日～3 月 1 日
- ・COP28 Wrap-up meeting
- ・Catch UP：5 月 24 日
- ・関係機関会議：12月19日